

国立研究開発法人防災科学技術研究所の評価に関する主な評価軸等について（案）

資料4

研究領域等	評価軸	評価指標・モニタリング指標
1. レジリエントな社会の実現に向けた防災科学技術の総合的な研究開発の推進	(1) 知の統合を目指すデジタル技術を活用した防災・減災に関する研究開発の推進	○レジリエントな社会を実現するために、防災科学技術に関する知の統合を目指し、デジタル技術を活用した防災・減災に関する総合的な研究開発を推進しているか。 《評価指標》 ・デジタル技術を活用した防災・減災に関する総合的な研究開発の成果 ・知の統合を目指した研究開発の取組の進捗状況 ・研究開発の進捗に係るマネジメントの取組状況 ・成果の社会実装に向けた取組の進捗状況 《モニタリング指標》 ・情報プロダクツの生成件数 ・論文発表数・口頭発表件数等 等
	(2) 知の統合に必要な防災・減災のための基礎研究及び基盤的研究開発の推進	○レジリエントな社会を実現するために、国の施策や計画等において国が取り組むべき課題の解決につながる研究開発を推進しているか。 《評価指標》 ・地震・津波・火山災害の被害軽減に向けた研究開発の成果 ・気象災害の被害軽減に向けた研究開発の成果 ・研究開発の進捗に係るマネジメントの取組状況 ・成果の社会実装に向けた取組の進捗状況 《モニタリング指標》 ・論文発表数・口頭発表件数等 等
①地震・津波・火山災害の被害軽減に向けた研究開発	○レジリエントな社会を実現するために、国の施策や計画等において国が取り組むべき課題の解決につながる研究開発を推進しているか。	《評価指標》 ・地震・津波・火山の観測・予測研究開発の成果 ・成果の社会実装に向けた取組の進捗状況 《モニタリング指標》 ・論文発表数・口頭発表件数等 等
②気象災害の被害軽減に向けた研究開発	○レジリエントな社会を実現するために、国の施策や計画等において国が取り組むべき課題の解決につながる研究開発を推進しているか。	《評価指標》 ・気象災害の軽減に関する研究開発の成果 ・成果の社会実装に向けた取組の進捗状況 《モニタリング指標》 ・論文発表数・口頭発表件数等 等

2. レジリエントな社会を支える研究基盤の運用・利活用の促進	(1) 基盤的観測網の運用・利活用促進	○基盤的観測網の安定運用を通じ、国内外の関係機関における防災科学技術に関する研究開発の推進に貢献しているか。	《評価指標》 ・観測データの関係機関との共有や利活用促進の取組の進捗 ・国内外の地震・津波・火山に関する業務遂行や調査研究等への貢献の実績 《モニタリング指標》 ・観測網の稼働率	等
	(2) 先端的研究施設の運用・利活用促進	○先端的研究施設の安定運用を通じ、国内外の関係機関における防災科学技術に関する研究開発の推進に貢献しているか。	《評価指標》 ・実験データの関係機関との共有や利活用促進の取組の進捗 ・先端的研究施設の活用による成果 《モニタリング指標》 ・先端的研究施設の共用件数 ・先端的研究施設の利活用の連携機関数	等
	(3) 情報流通基盤の運用・利活用促進	○情報基盤の安定運用を通じて、国内外の関係機関における防災科学技術に関する研究開発の推進に貢献しているか。	《評価指標》 ・情報流通基盤の活用による成果 《モニタリング指標》 ・SIP4D と接続したシステムの件数	等
3. レジリエントな社会を支える防災科学技術の中核的機関の形成	(1) 防災科学技術の中核的機関としての産学官民共創の推進	○レジリエントな社会の実現に向け、産学官民による共創で研究開発を推進し、防災科研のみならず、オールジャパンで成果が創出されるよう取組を推進しているか。 ○関係機関のニーズを踏まえた研究開発の推進や、知的財産の価値の最大化を図っているか。	《評価指標》 ・産学官民共創の成果 ・知的財産等を活用した成果の社会実装に向けた取組の進捗 《モニタリング指標》 ・情報プロダクツの生成件数 ・共同研究・受託研究件数 ・知的財産の出願件数と規格等への反映件数 ・シンポジウム・ワークショップ等の開催数 ・プレスリリース等の件数 ・論文発表数・口頭発表件数	等

<p>(2) 災害情報のデジタルアーカイブ</p>	<p>○収集した防災科学技術に関する情報及び資料をデータベース化して整理・保管し、広く一般に活用可能な形で提供しているか。</p>	<p>《評価指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災科学技術に関する情報及び資料のデータベース化や、一般への提供の実施状況 <p>《モニタリング指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害アーカイブ機関連携イベントの実施数 ・NIED-IRの登録数と利用数 	<p>等</p>
<p>(3) 研究開発の国際展開</p>	<p>○我が国ひいては国際的な防災力・レジリエンスの向上のため、国内外の機関との連携や、国際共同研究、研究者の国際交流の促進を図っているか。</p>	<p>《評価指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外の研究機関・国際機関等との連携による成果 <p>《モニタリング指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外の研究機関・国際機関等との国際共同研究数 ・研究者・研修生等の海外からの受入者数、海外への派遣者数 ・国際共著論文数・国際学会での口頭発表件数等 ・国際会合への参加数 ・国際協力の取決め数 	<p>等</p>
<p>(4) レジリエントな社会を支える人材の確保・育成</p>	<p>○防災・減災に携わる多様な人材の養成や資質の向上に資する取組を推進しているか。</p>	<p>《評価指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な人材育成のための取組の成果 <p>《モニタリング指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究員・研修生・インターンシップ等の受入者数 ・教育機関・自治体等への講師派遣数 ・協働大学院制度等を活用した人数 	<p>等</p>
<p>(5) 防災行政への貢献</p>	<p>○国、地方公共団体等への防災行政に貢献する取組を適切に行っているか。</p>	<p>《評価指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国や地方公共団体等との協力や支援等の取組の成果 <p>《モニタリング指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害調査の実施・支援等の件数 ・災害対応及び実証実験・訓練による情報共有の実施回数 	<p>等</p>
<p>(6) 情報発信と双方向コミュニケーション</p>	<p>○レジリエントな社会の実現のため、社会との双方向コミュニケーションを通じた、防災科研のブランディング活動を推進しているか。</p>	<p>《評価指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究活動・研究成果の情報発信・アウトリーチ活動の成果 <p>《モニタリング指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム・ワークショップ等開催数 ・プレスリリース等の件数 	<p>等</p>